

## 2026年度 第70回 中国四国学生バレーボール選手権大会 要項

主催 中国大学バレーボール連盟

四国大学バレーボール連盟

後援 岡山県バレーボール協会

山陽新聞社

岡山市

協賛 ミカサ、モルテン

主管 岡山県大学バレーボール連盟

1. 開催期間 2026年5月23日（土）～5月25日（月）

2. 会場 5月23日（土） 5月24日（日）

男子：岡山大学第二体育館

〒700-0082 岡山市北区津島中2丁目1-1

女子：岡山大学清水記念体育館

〒700-0082 岡山市北区津島中2丁目1-1

女子：環太平洋大学第二体育館

〒703-8211 岡山県岡山市東区矢津2050-13

(環太平洋大学会場にお越しの観客の皆様は、選手優先のため会場内の  
駐車場を利用することはできません。)

5月25日（月）

男女準決勝・決勝：六番川水の公園体育館

〒704-8163 岡山市東区升田614-64

3. 参加資格 中国及び四国大学バレーボール連盟登録規定により有効に登録された中国・四国の各学連に所属する単独チームに限る。

4. 競技規則 2026年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に則る。  
また、中国・四国学生バレーボール選手権大会申し合わせ事項に則る。

5. 競技方法 予選グループ戦・決勝トーナメント戦1回戦は3セットマッチ制で行う。  
決勝トーナメント2回戦から5セットマッチ制で行う。

6. 大会日程 5月18日(月) グループ戦抽選会

代表者会議

第1日目 5月23日(土) 予選グループ戦

決勝トーナメント戦抽選会

第2日目 5月24日(日) 決勝トーナメント戦

第3日目 5月25日(月) 準決勝・決勝・閉会式

※ 開館・試合開始時間

第1日・第2日目(環太平洋大学・岡山大学)

開館 8:30

競技エリア開放時間 8:49

第1試合プロトコール時間 9:19

試合開始 9:30

第3日目(六番川水の公園体育館)

開館 8:15

試合開始 10:00

\*全ての日程において、本部受付時刻を8:45以降とする

\*第1日目、第2日目は開館から競技エリア開放時間までの19分間は全チーム、コート外のフロアの使用を認めるが、ボールの使用は禁止とする。

\*競技エリア開放時間以降は、第1試合のチームのみコートの使用を認める。

\*第3日目は8:15の開館後、全チームでの会場準備後、準決勝第1試合チームの練習を開始する。

7. 使用球 (公財)日本バレーボール協会検定球 男子大会をミカサ製(V300W)

女子大会をモルテン製(V5M5000)とする。

8. チーム 1チームは、部長1名、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、トレーナー1名、エントリーされた選手全員、クイックモッパ―2名とし、選手は有効に登録・エントリーされた選手の中から試合ごとに選手15名(リベロプレーヤーは2名までとするが、1または0名でも可とする)を選ぶことができる。〔但し、マネージャーは当該大学生であること。〕

9. 申込方法 中国大学バレーボール連盟HPより所定の申込用紙を各チームにてダウンロードし必要事項を記入の上、締め切り期日までに下記の送信先にメール送信すること。

(下記の提出ファイルについて以下の注意事項を確認し提出すること)

① チームエントリー表

※チームエントリーが完了していないと参加できません。

締切期日 2026年4月20日(月) 必着のこと。

(チームエントリー受信確認後メールを返信する)

② 参加申込書及びパンフレットフォーマット

③ 参加費振り込み確認書

④ (公財) 日本バレーボール協会チーム加入選手一覧

②③④ 締切期日 2026年5月1日(金) 必着のこと。

《メール送信先アドレス》①, ②, ③, ④→ okayamagakuren@gmail.com

上記の大会申込み手続き完了チームには、その旨を折り返し通知する。

\*注意事項

(1)提出ファイル名

① 男 (M) 女 (F) +大学名 チームエントリー表

② 男 (M) 女 (F) +大学名 参加申込書及びパンフレットフォーマット

③ 男 (M) 女 (F) +大学名 参加費振り込み確認書

④ 男 (M) 女 (F) +大学名 JVA 加入選手一覧

(2)ファイル様式

①Word ②Excel ③PDF ④PDF

申込に必要な書類及び参加料は、締め切り期日までに上記の準備事務局に必着しなければならない。原則として、締め切り期日までに間に合わない場合は参加を認めない。

10. 参加費 1チームにつき 15,000円

(参加費については、原則として返金しない。)

《振込先》 中国銀行平井支店 普通預金

口座番号 1505023

中国四国学生バレーボール選手権 代表者 中川淳子

(振り込む際、必ず男 (M) 女 (F) +大学名で振り込みを入力すること。)

11. 代表者会議

[1] 日時 2026年5月18日(月)

男子：18:00～ 女子：19:00～

[2] 場所 岡山大学

[3] 開催方法 オンラインのみ

\*ZOOM を用いて行う。ID 等は後日連絡。

## 12. トーナメント抽選会

[1] 日時 2026年5月23日(土)

男子 18:00～ 女子 18:30～

[2] 場所 岡山大学 第二体育館

[3] 開催方法 対面

## 13. 開会式・閉会式

[1] 開会式は行わない。第1日目9:19(プロトコール)より予選グループ戦を開始する。

[2] 前年度優勝チームの優勝杯の返還は、当該チームの第1試合開始前に試合に先立って、コートにて返還する。

[3] 閉会式はコート表彰をもって実施する。

男女各決勝戦終了後、優勝チームの表彰を行う。

男女準決勝戦終了後、第3位チームの表彰を行う。

## 14. 表彰

優勝チーム:優勝旗、優勝杯、賞状

2位チーム:賞状

3位チーム:賞状

## 15. その他

[1] 選手番号は1～99までの番号とする。但し、1～18までの数字を用いることが望ましい。

[2] チームはリベロプレーヤーを最大2名エントリーすることができる。その際、令和7年度版ルールブックを参照しミスのないようにすること。服装は原則として規定による。

[3] 部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャーのマークは規定のものを用いること。

[4] 参加申込書及びパンフレットフォーマットに代表者連絡先(学生以外)を必ず記入すること。

[5] シード等、競技方法詳細については申し合わせ事項に説明する。

[6] プログラムは各チーム5部ずつ配布するが、その他に必要な場合

チームエントリー確認表に必要事項を記入し予約をすること。

[7] 選手は大会前に健康診断を受けること。

[8] 大会期間中に選手が負傷した場合、応急手当は行うが、それ以降の責任は一切負わない。

[9] **第70回記念事業（審判服の贈呈）について**

本大会は第70回大会を記念し、各チームに審判服2枚を贈呈する。

配布は大会当日の受付時に行うものとする。なお、サイズ等の詳細については別途通知する。

[10] 本大会に関する問い合わせ先

岡山県大学バレーボール連盟

TEL：080-1483-3824 最相京子

メールアドレス：[okayamagakuren@gmail.com](mailto:okayamagakuren@gmail.com)

## 2026年度第70回中国四国学生バレーボール選手権大会

### 申し合わせ及び注意事項

〈申し合わせ事項〉

本大会競技は、2026年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則により行う。

#### ◇競技上の注意事項

##### ◇競技方法

(1) 予選グループ戦の勝ち上がりチーム(敗者復活方式)による決勝トーナメントを行う。

(2) 予選グループ戦(3セットマッチ制、1ボールシステム)「第1日目」

① 予選は4チームのグループ戦を行い、1勝すればトーナメント戦への出場資格を得る。

② 参加チーム数に応じて、第1～第4シードチームは予選グループ戦を免除する場合があります。

③ 1部リーグに所属チームはグループ分けをする。

1) 中国学連・四国学連から順に入れる。

2) 1部チーム数がグループ数を超える場合は、グループAから順に各グループの一番下に入れる。

3) 四国学連2部以下のチームは、偶数番号に入れる。

(但し、一回戦で四国学連同士が対戦しないように配慮する。)

\* 予選グループ戦の組合せ決定後、通常通りグループ戦を実施する。

不戦勝チームを含むグループ全チームはトーナメント戦に自動進出とし、代替措置としてグループ内で総当たり戦を行う。

決勝トーナメント「第2日目、3日目」

① 予選グループ戦で出場資格を得たチームにより行う。

② 決勝トーナメント1回戦は3セットマッチ制、2回戦以降は5セットマッチ制とする。

③ 準決勝、決勝のみ5ボールシステムとする。

④ 3位決定戦は行わない。

(3) 試合球について

男子大会をミカサ製(V300W)、女子大会をモルテン製(V5M5000)とし本部から試合球を用意する。

#### ◇シード・抽選について

(1) シード権獲得について(通年)

① 第1～第4シード権については昨年度の結果をもとに、各学連に与えられるものと

する。

- ② 第1～第4シード・シード候補のチームについては、本年度の春季リーグ戦終了順位(中国学連については入れ替え戦の日程の都合上、入れ替え戦前の順位)に基づき決定する。
- ③ 第3、第4シード順は前年度本大会3位のチームが同一学連の場合は、本年度春季リーグ戦の上位チームを第3、下位のチームを第4シード・シード候補チームとし、前年度本大会3位の2チームが別学連の場合は、前大会準決勝で優勝チームに負けて3位になった学連側にあたえられる。
- ④ シード候補チームが予選グループで1敗でもした場合、そのチームはシード権を失いそのシードは空位とする。

(2) シード権獲得について (今年)

今年度シード権については、2025年度の大会結果を適用することとする。

〈男子〉2025年度の大会結果より、第1、第4シードは中国学連から各1チーム、第2、第3シードは四国学連から各1チームとする。

〈女子〉2025年度の大会結果より、第1シード～第4シードはすべて中国学連のチームとする。

◇競技開始時間について

- (1) 全試合追い込み形式での試合とする。前の試合終了時から20分間の試合間を設ける。但し、雨天の場合については前の試合終了後25分間の試合間を設ける。準決勝第2試合は、準決勝第1試合終了30分後にプロトコール、決勝戦は男女別々準決勝終了40分後プロトコールとする。

\*準決勝・決勝の試合間については両チームの同意があれば、試合間を短くすることが出来る。

- (2) グループ戦及びトーナメント戦において、前試合コートオフィシャルを担当していた場合また連続試合となる場合、3セットマッチでは25分、5セットマッチでは30分の試合間を設ける。

\*両チームの同意があれば、試合間を短くすることが出来る。

- (3) 試合前の選手の集合は速やかに行うこと。試合開始時刻より15分間経過しても選手が揃わない場合棄権と見なす。

- (4) 試合の進行上、コートを変更して行う場合がある。

◇公式練習、プロトコールについて

- (1)本大会はプロトコールを採用し、以下の要領で行う。(括弧内は3セットマッチの時間)
- ① 試合開始15分(11分)前にIF席の前でトスを行う。その際にエントリーオーダー用紙をIF席に提出すること。
  - ② 試合開始13分(9分)前に、5分(3分)ずつの公式練習を開始する。
  - ③ 公式練習終了後、主審の合図で全プレーヤーがエンドライン上に整列し、主審の合図でネットまで前進し、互いに握手を交わす。
  - ④ スタートイングプレーヤーは主審の合図でコート内に入り、第1サービスをもって試合開始とする。
  - ⑤ 試合終了後は、主審の合図でコート上のプレーヤーはエンドライン上に整列し、主審の合図でアタックラインまで前進し、挨拶を交わす。
- (2) 試合前の公式練習に関しては、ベンチへの着席を認められた者以外でもフリーゾーンでのボール拾いを最大5名まで(クイックモッパーも参加可能)許可する。但し、コート内に立ち入ること、球出し等の練習に直接携わる行為は禁止とする。公式練習終了後は速やかに競技フロアから退出すること。服装についてはベンチスタッフ、選手とは異なるものとする。
- (3)ベンチにはボール、飲料水(スポーツドリンク用容器使用のこと)、救急道具、うちわ等熱中症対策の備品以外の持ち込みを禁ずる。部旗は危険なため、公式練習後に競技フロアから出すこと。ベンチの端に倒しておいておくことは禁止とする。

#### ◇登録・資格

- (1) 中国及び四国大学バレーボール連盟登録規定により、有効に登録され中国・四国の学連に所属する単独チームに限る。
- (2) 1チームは有効に登録された部長1名、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、トレーナー1名、登録された選手とする。
- (3) 外国人選手が出場する場合は、(一財)全日本大学バレーボール連盟 外国籍部員の登録及び注意事項に則る。
- (4) 全日程で出場が可能であるチームに限る。
- (5) 有効に登録及び本大会に登録されていない選手が試合に出場した場合
  - ① 試合中に発覚→6人制競技規則に沿って処分される
  - ② 試合終了後に発覚→没収試合とする

#### ◇構成メンバー表の提出チーム役員及びについて

- (1)選手は有効に登録・エントリーされた者の中から試合ごとに選手15名をエントリー

することができる。

- ① 構成メンバー表は、第1試合のチームは試合開始30分前まで、それ以外は前試合第1セット終了時までには必ず本部席に提出すること。
- ② 構成メンバー表は、各自印刷・記入し、持参すること。本部での配布は行わない。
- ③ 選手、背番号の変更については「参加申込書及びパンフレットフォーマット」を確認すること。大会期間中の選手、背番号の変更は原則として認めない。

(2)ベンチへの着席は有効に登録された部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー各1名、選手15名の計20名以内とする。リベロは2名まで登録できる。

- ① スタッフは有効に登録・エントリーされた者の中から試合ごとに部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー各1名を選ぶことができる。(但し、マネージャーは当該大学の学生であること。)
- ② 部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナーのマークは、チームで揃え左胸につけること。マークがない場合は、ベンチへの着席は認めない。
- ③ ベンチスタッフの服装は、季節に応じた正装(季節や気温に応じてカッターシャツ、スーツパンツのみ着用を認める)か、チームで統一されたトレーニングウェアを着用することとする。但し、Tシャツ等の襟のないものや、ハーフパンツ、短パンでの服装の統一は許可しない。
- ④ 部長、監督の服装が正装の場合、その他の役員が統一されたトレーニングウェアを着用することとする。部長がトレーニングウェアを着用する場合は、ベンチスタッフ全員が統一されたものを着用すること。

#### ◇ユニフォームについて

- (1) 選手の背番号は1～99までの数字とする。但し、1～18までの一連の数字を用いることが望ましい。
- (2) チームキャプテンは、胸の番号の下に幅2cm、長さ8cmのマークを付けること。
- (3) ユニフォームのソックスは、チーム内で色と長さの統一されたものを着用する。刺繍はワンポイントまでの違いを認める。(例:アシックスとミズノのロゴ違いなど)  
但し、踝(くるぶし)の見える靴下を履いての競技参加は禁止する。
- (4) アンダーシャツ、パワーパンツについては、ユニフォームの下に隠れるように着用し、一切見えないようにすること。

#### ◇審判上の注意事項

(1) 熱中症予防の観点から本大会では「給水のためのタイムアウト（給水タイム）」を実施する。

##### 【給水のためのタイムアウト（給水タイム）の手順】

- ① 各セットにおいて、リードするチームが13点目に達した時、30秒間の給水タイムを自動的に適用する。  
最終セット（第3セットの場合）についてはチェンジコートをしたあとに適用される。  
第5セットについての給水タイムはリードするチームが8点目に達したとき、30秒間の給水タイムを自動的に適用する。
- ② タイムアウトと同様に、副審（または主審）がホイッスルで合図し計時を行い、30秒後に給水タイムの終了をホイッスルで合図をする。
- ③ 給水タイムは正規の試合中断の要求（タイムアウト、選手交代）やリベロリプレイスメント等より優先される。上記を行う場合は給水タイム終了時にその手続きを行う。
- ④ コート内の選手は給水エリア（ベンチとウォームアップエリアの間のフリーゾーン）で給水を行う。
- ⑤ 給水タイムは給水だけを目的としたものなので、選手だけで実施される。ベンチスタッフは選手との会話は認められない。

\* タイミングが遅れた場合は、確認できた時点で給水タイムを適用する。

#### (2) ワイピング行為について

- ① コートワイピングはコートが濡れたと思われるときに、各自の判断においてラリーを妨げないよう素早くプレーヤー自身、および2名以内のクイックモッパーがコートを拭くこと。
- ② クイックモッパーの服装は選手及びベンチスタッフとは異なるものでなくてはならない。
- ③ クイックモッパーが応援及びチームのマネジメント行為（ドリンク、アイシング作り等）を行ってはならない。発覚した場合は、チームに対しての警告となる。
- ④ 但し、チームの人数の関係でクイックモッパーを準備出来ない場合のみ、ユニフォームを着たコート外の選手がクイックモッパーの役割を担うことを許可する。

#### (3) リベロプレーヤーの取り扱いについて

- ① リベロプレーヤー（以下リベロ）はチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。

- ② リベロの再指名を行うことが出来る。再指名については、競技規則に則って行うこととする。
- ③ リベロの登録は最大2名までとするが、1または0名でも可とする。
- ④ リベロ・ビブスの着用はユニフォームが用意できない場合に限り認めることとする。
- ⑤ リベロはチームの他の選手と主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。

(4) 学生補助役員については以下の通りとする。

担当する試合のプロトコール時刻、5分前までに必ず記録席に集合すること。

主審・副審を担当するものは10分前までに、各コートに集合すること。

グループ戦：すべての審判、補助役員を学生が行うものとする。

第1試合のみ、第3試合両チームが審判と補助役員を行う。

組み合わせ上：主審・ラインジャッジ計5名

組み合わせ下：副審・記録員(2名)・点示(2名)計5名

第1試合以降については前試合、勝者チームが審判と補助役員を行う。

トーナメント戦1回戦：主審のみ公認審判員

第1試合のみ、第3試合両チームが審判と補助役員を行うものとする。

組み合わせ上：ラインジャッジ4名

組み合わせ下：副審・記録員(2名)・点示(2名)計5名

第1試合以降については、前試合、敗者チームが審判と補助役員を行う。

**\*主審、副審行う際は、必ず審判服を着用すること。**

トーナメント戦2回戦以降：主審・副審を公認審判員

前試合、敗者チームが補助役員(計8名)を行う。

準決勝・決勝戦：主審・副審を公認審判員

準決勝第1試合のみ、第2試合両チームが補助役員を行うものとする。

組み合わせ上：ラインジャッジ(4名)・記録員(2名)計6名

組み合わせ下：ボールリトリーバー(6名)・点示(2名)計8名

準決勝第2試合、決勝戦については前試合、敗者チームが補助役員(計14名)を行う。

- ① トーナメント戦以降、副審を行う際には審判服の着用を基本とする。但し、グループ戦については着用しなくてもよい

\*審判時の笛(長管・短管)は各大学で両方用意すること。但し電子ホイッスルは禁止とする。

- ② 審判を行う者は、原則有資格者でなければならない。

審判資格者がいないチームは、事前に同じ会場の他のチームに審判を依頼すること。

- ③ 補助役員の服装は、チーム統一のものとする。なお、ハーフパンツを着用しても構わない。

\*ユニフォームパンツでの補助役員の服装を統一することは禁止とする。

#### ◇注意事項

- (1) 各チームはルールブックを熟読し、試合運営の円滑化に協力すること。
- (2) 練習会場は特に設けない。試合前のウォーミングアップは注意されたことを守って迷惑のかからないよう各チームは責任を持つこと。
- (3) ガラス・照明等の会場の一部を破損したときは、その旨を本部に連絡すること。
- (4) 体育館内、体育館外での履物の区別を徹底すること。
- (5) 大会期間中に選手が負傷した場合は主管者において応急手当を行うが、それ以降の責任は一切負わない。
- (6) チームの所持品・貴重品・脱衣物・ボール等の管理は各チームの責任において管理すること。盗難においては一切の責任をおわない。
- (7) 館内は禁煙である。また、ゴミは各チームで責任を持って処分すること。
- (8) ゲーム中のボールデッドの処理は線審の手を煩わせることなく選手間で行う。
- (9) 試合中(プロトコール後)のベンチ内での撮影は禁止とする。